

『ラジオ体操を世界遺産に』

AM6・00に起きて、しばしブーツとして、隣で寝ている小2の娘を起こす。顔を洗って着替える。自転車にまたがる。AM6・20に出発しようとする、娘がラジオ体操カードが無いと言うから探す。なぜかソファの下から出て来る。

公園には100人以上の人がいた。最上級生の小学6年生が前の方に並んでいる。そちらを向いて、幼稚園児から小学生、そして大人もいる。出勤前のYシャツの男性、元気ハツラツな誰かのママ、もうジョギング終わりで汗だくのおじいさん。赤ちゃんからお年寄りまで、この公園に人がいる。そしてAM6・30、「新しい朝が来た。希望の朝だ」と音楽が流れ、ラジオ体操が始まった。

僕は寝起きで身体が硬すぎるのが少し恥ずかしくて、キョロキョロしながら、こんなにたくさん知らない人たちと、同じ場所で、同じことをするのって、面白いなと思った。今の世の中はみんな忙しくて、人との関係が希薄なんて言われるけど、ここではちゃんと知らない人同士で活動している。このラジオ体操って実は、スゴイ貴重で大切な時間なんじゃないだろうか。

体操が終わり、スタンプを押してもらった娘の後ろ姿を少しうらやましく眺めながら、僕はあくびをした。